

2014年度酒パックリサイクルに関するアンケート調査結果

酒造メーカーにおける酒パックリサイクルの現状を把握するため、毎年行っている実態調査を2014年度も実施しました。その結果以下の内容が明らかになりました。

〈酒促進協会24社の使用量およびカバー率〉

■仕様別使用量

- アルミ付 179,510,321本 (10,419,499kg)
- アルミなし 103,939,593本 (7,022,709kg)
- 合計 283,449,914本 (17,442,207kg)

■カバー率

- アルミ付 = 55.9%
- アルミなし = 70.5%

■全国で流通する酒パック総量

(2013年度紙パックメーカー総販売重量)
 ●エトール(徳島県) 28,589,000kg
 ●アルミ付=18,631,000kg
 ●アルミなし=9,958,000kg

まとめ

- ①2013年度に比べ会員数が1社増え、会員全体のパック生産数量は増加したが、紙の総重量は減少している。これは、容器の少容量化や軽量化が進んだ影響と考えられる。
- ②会員全体のカバー率は2013年度に比べポイント減少したが、ほぼ横ばいと言える。また、非会員を加えた全体の原紙使用重量及びカバー率も2013年度に比べ1.2ポイント減少した。
- ③会員全体の損紙リサイクル率は、2013年度の95.8%から85.6%に10.2ポイント低下した。これは新たに会員に加わったメーカーが現時点では損紙リサイクルに着手されていないためと考えられる。
- ④このメーカーがリサイクルに転じられるよう、事務局としても「フォロ」を行っていききたい。
- ⑤今後、新規会員員に対してのリサイクル推進「フォロ」を行うことで、リサイクル率向上を目指していききたい。

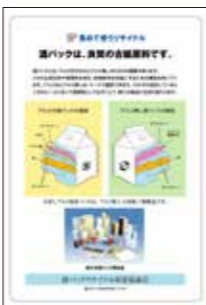
第24回情報交流会 広報部会報告

広報部会 中尾部会長

貸出用紙管パネルの利用事例

貸出用紙管パネルの製作

既存のものが汚れたため、左記の酒パック構造の紙管パネルを再製作。



白鶴「酒蔵開放」

2015年4月11日(土) 於・本社工場 《白鶴酒造》

お酒の試飲や日頃は一般公開していない酒蔵工場の見学、樽巻きショー等を行い、大勢のお客様にお越しいただきました。来場者約200名のうち、150名の方が地元障害者施設「御影倶楽部」様により、酒パックを使った紙漉き体験(オリジナル葉書作製)にご参加いただきました。



酒蔵開放：紙漉き体験の様子



宝酒造ブースの様子

望月環境大臣への説明の様子

第23回ロハスフェスタ

2015年4月25(土)〜26(日) 於・方博記念公園 《宝酒造》



宝酒造では、左記2カ所のイベントでベロタクシー無料体験試乗会を実施。来場者に酒パック再生品「ペーパーラフト」・ベロタクシー「番号」(写真)をプレゼントしました。

※ロハスフェスタin万博公は関西最大級の環境イベント。(来場者数：約87,000人)。

宝酒造ブースへの推定来場者数は、約2,000名。

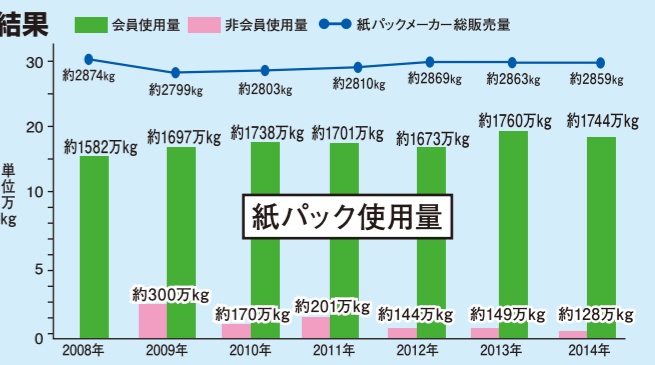
環境省主催「エコライフ・フェア2015」2015年6月6(土)〜7(日) 代々木公園 《宝酒造》

※環境省が主催する環境展示会(来場者数：約116,000人)。

宝酒造ブースへの推定来場者数は、約1,300名。

7年間(2008~2014年)の比較調査結果

充填損紙リサイクル率の比較							
	2009年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
充填紙量(トン)	169.1	215.1	214.6	243.1	221.1	220.4	244.9
再生量(トン)	127.3	180.7	170.8	231.4	210.9	211.1	209.7
リサイクル率(%)	75.3	84.0	79.5	95.2	95.4	95.8	85.6



酒パックリサイクル促進協便り

2015年4月15日にVol.12を発行し関係各方面に発送しました。



「酒・アルミ付紙パック」リサイクルマーク登録状況について

前回促進協議会(2015年3月19日)以降にリサイクルマークを付けた再生品の追加製作は左記のとおりです。新規製作はありません。

◆追加製作

- ◆大関 天バット(O/NCI80) 144天バット(B)
- ◆小西酒造 天バット(白雪上撰) 天バット(白雪特撰) 表示枠「特撰1.8L用」 天バット(つば八用1.8L)
- ◆辰馬本家酒造 天バット(300ml本醸造生貯)
- ◆白鶴酒造 天バット(上撰1800ml生貯) 天バット(上撰1800ml徳利広口) 天バット(上撰300ml生貯20入)
- ◆酒パックリサイクル促進協議会 角2封筒 紙管パネル
- ◆宝酒造 紙管パネル7枚をリニューアル

講演 韓国・中国(北京)の紙パックリサイクルの現状

古紙ジャーナル社 代表取締役社長 本願 貴浩氏 編集記者 本願 雅史氏

発刊から今年で23年目を迎えた、日本で唯一の古紙専門業界紙「古紙ジャーナル社」の本願、兄弟をお招きし、日本国内及び近隣の韓国、中国の紙パックリサイクルの現状についてお話を伺いました。本願社長には、社長本願貴浩氏、



社長本願貴浩氏

損紙を含む回収ものの牛乳パックを月間5,000トン使用するとい



う、韓国の古紙物メインの家



編集記者 本願雅史氏



成しているという中国のアルミ付紙パックの実態についてお話しいただきました。

また本願編集記者には、年間14万トンを回収し、回収率25%を達

講演 紙パック等の古紙を原料にした板紙生産

大和板紙株式会社 専務取締役 伊藤 幹太氏



現在、酒パックの受け入れ製紙工場として灘伏見酒パック循環システムの要になっていただいている大和板紙(株)の伊藤専務には、受け入れた酒パックがどのように再生されるかを、工場の流れに沿って説明していただきました。再生された板紙はパッケージなどさまざまな製品に生まれ変わりますが、固くて脆いセメント系材料に古紙パルプを配合することにより粘り強く繊維補強されるため、最近では建築の外壁材としても活用が進んでいることなどを伺いました。

ただ国内の古紙利用の現状は、回収率に比して利用率にまだまだ差があるため積極的な古紙消費が必要とのことです。



関西地区見学会

酒促進協では7月3日(金)酒パックや古紙パルプの活用現場見学会を開催。大阪府下2箇所の見学会に19名が参加しました。

〈紙好き交流センター 麦の会〉

大阪府交野市

酒パックを原料にしてはがきや名刺、カレンダーなどの手漉き商品を制作している工房です。



紙好き交流センター 麦の会 見学の様子

〈ケイミュー株式会社〉

大阪府堺市 大阪府交野市

クボタと松下電工が出資して2003年に誕生した建築外装材料メーカー。最先端技術を応用した特性などのお話を伺い、外壁材の製造工程や施工例などを見学しました。



ケイミュー株式会社見学の様子